

「我が子へ 伝えておきたいこと」

厚母 至眞子

神様はきつと見ているよ
そういうと怪訝な顔をする
神様でなくても何か大きな力とか
自分自身の良心とか
そういったものが見ている気がするよ
言葉では説明出来ないのがもどかしい
人間は不思議で有り難い存在だ
いつの頃からかそう思うようになった

どんな人でも「何も無い」では生きていけない
何らかの恩恵をどこかで受けている
親だったり、子だったり
夫だったり、妻だったり
師だったり、友だったり
見も知らぬ人からだったり
たとえ、一人ぼっちの島暮らしになったとしても
生きる術を得る知恵が与えられている筈だ

それに気付いた時、母は神様を信じた
あなたにとって、それは
神様の姿をしていないかもしれない
だけど、確かに
何かに守られている
大切にされている
それに気付けば何かが変わる
あなたの中で何かが変わる

それを我が子へ伝えたい
思春期のあなたへ伝えたい